

【事業者名称】グループホーム和楽

20年1月7日評価実施

自己評価項目	外部評価項目	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I 理念に基づく運営					
I-1. 理念と共有					
1	1	<input type="checkbox"/> ①地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	基本理念に掲げて、いこいのサロンへの参加など、地域での暮らしをサポートできるよう、努力している。		
2	2	<input type="checkbox"/> ②理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	園内研修を行ない、理念の共有を行っている		理事長や管理者と、現場のスタッフ自身がじっくりと話せる機会を定期的にもうけ、理念の再確認、具体的な取り組み等について話したい。
3		<input type="checkbox"/> ③家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる	家族には、入所時に理念の説明を行ない、家族報告も行っている。又地域の方にも偶数月に広報を発行し、理解を得ている。		
理念と共有 3項目中 項目					
I-2. 地域との支え合い					
4		<input type="checkbox"/> ①隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄りしてもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	立地面もあり、挨拶を交わす程度で、気軽に立ち寄りいただける場所に、いたっていない。		畑で出来た野菜などの、お裾分けの機会なども作っていただけると良い。また散歩などを通して近所の方と触れ合えることも増やしていきたい。
5	3	<input type="checkbox"/> ②地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	つきに1回地域のいこいサロンに参加している。夏祭りなど法人の行事に、ボランティアとして協力してくださっている。又野菜をお裾わけしていただいたりしている。		いこいのサロンへの参加は、心身の状況から、毎月限られた人になってしまうため、多くの参加を促したい又自治会の行事などにも、積極的に参加できるようにしていきたい。
6		<input type="checkbox"/> ③事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	具体的な取り組みは、出来ていないが、当理事が講演会などの依頼を受け、講師として出向いている。		デイサービスや乳児保育園も併設されているため、法人として話し合いの機会を今後もってきたい。又地域の高齢者の方々の暮らしを、まずは把握していく必要がある。
地域とのつきあい 3項目中 項目					

自己評価項目	外部評価項目	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I-3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
7	4	<input type="checkbox"/> ①評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	スタッフ全員で自己評価を行ない、ミーティングに具体的な飼う前に取り組めるようにしている。又、スタッフ自身も、自らケアなどに対して、見つめなおす機会となっている。		具体的に取り組めていない点も多いため実際に向けて積極的にすすめていく。
8	5	<input type="checkbox"/> ②運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	定期的におこなっており、毎回8割以上の方の参加があり、地域の方や家族。行政の方を含めて話し合いが出来る。また参加できていないスタッフの伝達もおこなっている。		報告のみならず、運営委員会の意見を生かしていけるようにしたい。また参加できていない入居者、家族の方の意見も事前に吸い上げられるとよい。
9	6	<input type="checkbox"/> ③市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	申し出があれば、介護相談員の受け入れをおこなう。	○	どういったことで連携を図っていくのが具体的にすすめていけばと思う。
10		<input type="checkbox"/> ④権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	学ぶ機会が少ない。		その事業や制度の理解、必要性を、スタッフが把握できるよう、講師を招き研修の機会を設けてほしい。
11		<input type="checkbox"/> ⑤虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	グループホーム内での虐待は無いと認識している。研修はあるが、具体的な防止取り組みについて、話し合いが出来ていない。		何が虐待なのか、何が虐待につながるのかを理解し、今後虐待が起こることのないようつとめていきたい。また身体的なことにとどまらず精神的にも小さなことも虐待になっていないかスタッフがみつめなおせるようにしていきたい。
理念を実践するための制度の理解と活用 5項目中 項目					
I-4. 理念を実践するための体制					
12		<input type="checkbox"/> ①契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	入所時に詳しい説明は行っている。		重度化に伴い、戸のような状態で解約をおこなうか、随時家族との相談が出来るよう、話し合う機会を作っていきたい。
13		<input type="checkbox"/> ②運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	意見を聞きだせる要、働きかける努力はしているが、重度化により、意見を上手く述べる事が困難になっている方もいる。		意見や不満などを気兼ねなく話していただける雰囲気作りを心がけたい。復言葉の表れていなくとも、非言語による意思表示(表情等)を気に留められるよう努めたい。
14	7	<input type="checkbox"/> ③家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	面接や月1回の個別のお手紙で、日頃の状態をお伝えしている、また特変事は随時細めに連絡を、連絡を取りお伝えしている。		

自己評価項目	外部評価項目	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
15	8	<input type="checkbox"/> ④運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	ケアプランの説明を行う時等に、意見を聞くようにしている。また毎月の手紙の対して返信用の用紙を同封し意見、要望を伝えていただくようにしている。		意見などがきがるに表せてもらえるよう、今まで以上にはたらきかけていく。
16		<input type="checkbox"/> ⑤運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	主任を通して、着実に伝えている。		現場スタッフが、直接運営者、管理者と話し合える機会を定期的に設けて行きたい。
17		<input type="checkbox"/> ⑥柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	随時、迅速に調整している。		
18	9	<input type="checkbox"/> ⑦職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	スタッフの入れ替わり時は、影響が大きく生じた		他部署との関連もあり、急激な異動等がないよう、又離職に伴い迅速にスタッフの補充が行われ、入居者への影響を少なく出来る様にしてい。又入職者に対して的確な指導が行える様今いるスタッフも質の向上に努めていきたい。
理念を実践するための体制 7項目中 項目					
I-5. 人材の育成と支援					
19	10	<input type="checkbox"/> ①職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	定期的な園内研修、専門研修への参加を行っている。		
20	11	<input type="checkbox"/> ②同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	他のグループホームとの研修会を、2ヶ月に1回行っている。またグループホーム同士の交換研修も、毎月行っている。		
21		<input type="checkbox"/> ③職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	入居者から目が離せないため、休暇が取れない事でストレスになっている。	○	
22		<input type="checkbox"/> ④向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	主任が運営者、管理者に報告を行っている。		向上心を持ってもらえるよう、主任からだけでなく、運営者からも今まで以上に、助言をもらいたい。
人材の育成と支援 4項目中 項目					

自己評価項目	外部評価項目	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
II-1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
23		<input type="checkbox"/> ①初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	入居までに訪問を行い、細やかに情報を得ようとしている。自分の思いを伝えることが難しくなっている方の意見を、入居前に把握できないことが多い。		
24		<input type="checkbox"/> ②初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	入居までに訪問を行い、細やかに情報を得ようとしている。		
25		<input type="checkbox"/> ③初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	ケアマネージャーも含め、適切なサービスを活用していただける様、連携をとっている。		
26	12	<input type="checkbox"/> ④馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	利用前に、見学などをさせていただいている。体験利用などは行っていない。		双方のなじみを築いていくためにも体験利用の選択も儲け、利用される方本人・ご家族が納得して入居入居して頂けるよう体制を整えていく。
相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応 4項目中 項目					
II-2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
27	13	<input type="checkbox"/> ①本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	日常の家事・畑仕事・裁縫・導師を始め、季節折々の梅干しづくり・御節づくりなど教えていただきながら一緒に行っている。		
28		<input type="checkbox"/> ②本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	誕生日会や夏祭り・バス旅行などの参加を呼びかけ、共に過ごす機会を作っている。また帰宅願望の強い方などに電話や手紙・外出など協力を求め支援を得ている。		ゆっくり過ごして頂けるよう今後はたらかけていく。面会の頻度や行事へ参加して頂けるよう声をかけていきたい。
29		<input type="checkbox"/> ③本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	より良い関係づくりのために、具体的に働きかけることは出来ていない。また把握が出来ていないこともある。		

自己評価項目	外部評価項目	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
30		<input type="checkbox"/> ④馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れな いよう、支援に努めている	家族のみならず、友人・勝手の同僚などの面会・通 信がある。また法事・結婚式祭りなど一時帰宅をし 参加されている方が多い。		
31		<input type="checkbox"/> ⑤利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関 わり合い、支え合えるように努めている	利用者同士気の合う導師で外出する機会を作っ ている。互いに気遣っている様子も見られる。トラブ ルや混乱を起こしている場面もある。		
32		<input type="checkbox"/> ⑥関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者 や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	特養や病院の移転先に面会に行くことはしている がそれ以上のことはしていない。		
新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援 6項目中 項目					

自己評価項目	外部評価項目	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
Ⅲ-1. 一人ひとりの把握					
33	14	<input type="checkbox"/> ①思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	努めてはいるが充分把握できていないこともある。	○	業務的な動きになりがちであるため利用者本位の視点を見直す。
34		<input type="checkbox"/> ②これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	家族の協力を得て基本情報を教えていただいている。		情報を職員共有しました新しい情報をえられるよう働きかけていく。
35		<input type="checkbox"/> ③暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	個々の出来ることを活かして頂けるよう機会を設けている。		その日の心身の状態に合わせ柔軟に支援していきたい。
一人ひとりの把握 3項目中 項目					
Ⅲ-2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
36	15	<input type="checkbox"/> ①チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	毎月ケアカンファレンスを開きケアプランの作成につなげている。家族の意向、承諾を得ている。検討事項が出来たときは家族に相談している。		ケア項目によっては、実施できていない事もあるためケアの計画を把握し取り組んでいく。
37	16	<input type="checkbox"/> ②現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	心身の状態に変化があった都度、作成しなおしている。		
38		<input type="checkbox"/> ③個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	生活記録と申し送りにより、情報の共有に努めているが、記録、申し送りが、今後のケアにつなげられていないかは、不十分である。		状況説明のみならず、気づき(アセスメント)も含めた記録、申し送りが行えるようにする。
介護計画の作成と見直し 3項目中 項目					
Ⅲ-3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
39	17	<input type="checkbox"/> ①事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	入退院時などには、家族、各専門医(ソーシャルワーカー、担当医、担当看護師等)相談し、協議を行っている又個別外出(買出し、冠婚葬祭の付き添い等)随時行っている。		入居者の要望野菜、柔軟に対応していきたい。
多機能性を活かした柔軟な支援 1項目中 項目					

自己評価項目	外部評価項目	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
		Ⅲ-4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働			
40		<input type="checkbox"/> ①地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	理事会、評議員かいにおいて、地域自治会との協調を話し合っている。		
41		<input type="checkbox"/> ②他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	主治医と居宅医療管理指導を結び、敵宜往診、相談していただけるようにしている。又その他に必要な時は、連携をとるようにしている。		
42		<input type="checkbox"/> ③地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	運営推進会議には、参加していただいている。	○	センターも含めて事業所も。継続的に協働の連携を図っていく必要がある。
43	18	<input type="checkbox"/> ④かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	主治医による定期的な往診を受けており、また状態に応じて主治医と連絡を取り、報告、相談に対応している、また年1回、健康診断をしてもらっている。		
44		<input type="checkbox"/> ⑤認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	高齢者医療に詳しい主治医であるため、随時相談、助言を得ている。		
45		<input type="checkbox"/> ⑥看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	デイの看護師がいるため、何かあったときは相談している。		グループホーム専属の看護師はいないため、利用者の状態の詳細を把握してもらえる看護師が今後必要ではないか(重度化しているため)
46		<input type="checkbox"/> ⑦早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	入院時は、病院のMswと相談し、カンファレンスを行い。連携をとっている。		
47	19	<input type="checkbox"/> ⑧重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	状態に合わせ、話し合いは行っている。		その状態になってからではなく、ホームの支援体制の具体化、家族さんの意向確認を日頃より行っていきたい。

自己評価項目	外部評価項目	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
48		<input type="checkbox"/> ⑨重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	受け入れる際はケアカンファレンスを行い話し合い、支援できる限度を家族に説明し、理解を得ている。主治医とも相談し、助言を得ている。		
49		<input type="checkbox"/> ⑩住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	情報提供は、文書、高等も含め十分行っている。		
地域資源との協働 10項目中 項目					


自己評価項目	外部評価項目	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
IV-1. その人らしい暮らしの支援					
IV-1. (1) 一人ひとりの尊重					
50	20	<input type="checkbox"/> ①プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーに配慮した言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしている	スタッフ自身が精神的にゆとりがないと、言葉掛けに不備があり不快感を与えている事もある、記録等は棚内に保管しており、個人情報保護の徹底をしている。	○	
51		<input type="checkbox"/> ②利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	意向に沿えるよう努力している。		
52	21	<input type="checkbox"/> ③日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	スタッフ配置や入居者の重度化に伴いスタッフのペースで行うこともある又業務的なペースで流れる事もある。散歩、買物、家事などその方の心身の状態に合わせてできる限りの努力はしている。	○	
その人らしい暮らしの支援 (1)一人ひとりの尊重 3項目中 項目					
IV-1. (2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
53		<input type="checkbox"/> ①身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	理髪店、美容院の方が、GHに訪問し散髪をしてくださっている。又毛染めも希望に応じて行っている、化粧品も用意し、外出時などは希望に応じてされている。		
54	22	<input type="checkbox"/> ②食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	毎食時一緒に準備を行っているが同じ方とばかり偏りがちである。嗜好は把握し、配慮している。畑で収穫した野菜を使用している。又食材を買いに出かけている。	○	
55		<input type="checkbox"/> ③本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	行事ごとの日にはビールや日本酒、梅酒なども用意し嗜好にあわせられるようにしている。又おやつも買出しの時に一緒に選んだりしている。		
56		<input type="checkbox"/> ④気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	個々の排泄残存能力、排泄パターンにあわせてトイレ誘導、リハビリパンツなどの使用を行い支援している。		
57	23	<input type="checkbox"/> ⑤入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	時間帯はスタッフの都合で、午後になっている。それが定着してしまっているためか朝、夕の入浴時間の希望は現在無い、隔日に入浴しゆっくり入れるよう配慮し入浴剤も毎日変え工夫している。		

自己評価項目	外部評価項目	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
58		<input type="checkbox"/> ⑥安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	その日の睡眠状態や体調、気分の状態によって支援できている。		
その人らしい暮らしの支援 (2)基本的な生活の支援 6項目中 項目					
IV-1. (3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
59	24	<input type="checkbox"/> ①役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	個々の役割や楽しみごと事を把握し、支援することに努めている。		
60		<input type="checkbox"/> ②お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	小額のみ、自己管理されている方がいる。買物時などは買いたいものをいつでも購入できるよう、小遣いをお預かりしている。		
61	25	<input type="checkbox"/> ③日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	外食や買物など出かける機会を週のうちに、必ず設ける様になっている。入居者の重度化により以前よりも出かける機会が減ってきている。		
62		<input type="checkbox"/> ④普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	個別外出も行っている入居時に比べて、認知賞の進行、ADLの低下が見られ、困難性を生じている。		
63		<input type="checkbox"/> ⑤電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	希望に添って支援している、また年賀状などを送ったりしている。		
64		<input type="checkbox"/> ⑥家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	面会時間は決めておらずいつでも気軽に訪問できるようにしている。		
その人らしい暮らしの支援 (3)社会的な生活の支援 6項目中 項目					
IV-1. (4) 安心と安全を支える支援					
65		<input type="checkbox"/> ①身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	臥床時、転落防止のため(介護度4の方)ベットの柵を使用する際は、事前に家族に同意書を得ている。		

自己評価項目	外部評価項目	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
66	26	<input type="checkbox"/> ②鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	日中は鍵はかけていない、いつでも出入りが出来る様になっている。		
67		<input type="checkbox"/> ③利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	各空間にスタッフが付き添えるように、見守りを行い安全の確保の努めている。		
68		<input type="checkbox"/> ④注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	危険なもの(包丁、はさみなど)は安全な場所に保管している。異食が見られる方もあるため、見守っている。		
69		<input type="checkbox"/> ⑤事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	些細な事でも事故報告書、ヒアリハットを上げ、防止に取り組んでいる。		
70		<input type="checkbox"/> ⑥急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	定期的な訓練は行っていない。		
71	27	<input type="checkbox"/> ⑦災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	非難消化訓練を行っているが、実施生じたときの対応できるか、不安が多い(特に夜間はスタッフ一人であるため)		
72		<input type="checkbox"/> ⑧リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている	リスクがある方には、家族に説明を行い、防止に努めている		
その人らしい暮らしの支援 (4)安心と安全を支える支援 8項目中 項目					
IV-1. (5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
73		<input type="checkbox"/> ①体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	申し送りにて、速やかに情報を共有している。又必要に応じ、主治医と連絡を取り相談している。家族にも随時電話連絡を細やかに行っている。		

自己評価項目	外部評価項目	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
74		<input type="checkbox"/> ②服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	往診時に内服の相談もしている。新しく出された薬については、副作用が生じていないか見守り、Drに相談している。		
75		<input type="checkbox"/> ③便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	職持ち繊維の多いものや、乳製品などをおやつや献立に入れるなど、便秘対策につなげている。		
76		<input type="checkbox"/> ④口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	必要に応じ介助を行っている。		
77	28	<input type="checkbox"/> ⑤栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	嘱託の栄養士により、献立を検討してもらっている。又個々の栄養状態によって食事内容を相談している。		
78		<input type="checkbox"/> ⑥感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	手洗い、うがいの励行、インフルエンザの予防摂取を行っている。		
79		<input type="checkbox"/> ⑦食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	一日の終わりに、包丁、まな板、布巾などの漂白消毒を行っている。毎日食材を納品、購入している。		
その人らしい暮らしの支援 (5)健康面の支援 7項目中 項目					
IV-2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
IV-2. (1) 居心地のよい環境づくり					
80		<input type="checkbox"/> ①安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	プランターの花を植えたり工夫している。		
81	29	<input type="checkbox"/> ②居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	季節の花を飾ったり、証明が眩しくならないよう和紙を貼りやわらかい光になるようにしている。又入居者の方が昔作られた(切絵、おし絵等)を廊下や玄関に飾ったりしている。		

自己評価項目	外部評価項目	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
82		<input type="checkbox"/> ③共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	リビングにて過ごされる方が多い。		
83	30	<input type="checkbox"/> ④居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	使い慣れたものを持ってきていただけるよう声を掛け理解も得ているが、新しいものを購入される方が多い。		
84		<input type="checkbox"/> ⑤換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のおよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	脱臭器を書く場所に設定している。室温計を設置し、換気やエアコンの温度調節をこまめに行っている。		
生活環境づくり (1)居心地のよい環境づくり 5項目中 項目					
IV-2. (2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり					
85		<input type="checkbox"/> ①身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	移動される時に、足元など見えない所の障害物に、配慮がないときがある(足踏み台、みにテーブル、テーブルの脚など)		
86		<input type="checkbox"/> ②わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	努めてはいる。		
87		<input type="checkbox"/> ③建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	重度化により段差などで転倒リスクも、活動の機会が減っている。ベンチを活用して日光浴や体操などを行っている。		
生活環境づくり (2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり 3項目中 項目					

( 部分は外部評価との共通評価項目です)

V. サービスの成果に関する項目		取り組みの成果 (該当する箇所の番号の左横に○印をつけること)	
項目		↓○印欄	
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の2/3くらい ③利用者の1/3くらい ④ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	<input type="radio"/>	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての家族と ②家族の2/3くらいと ③家族の1/3くらいと ④ほとんどできていない
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	<input type="radio"/>	①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどない
項目		14 取り組みの成果 (該当する箇所の番号の左横に○印をつけること)	

		↓○印欄
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	<input type="radio"/> ①大いに増えている <input checked="" type="radio"/> ②少しずつ増えている <input type="radio"/> ③あまり増えていない <input type="radio"/> ④全くいない
98	職員は、生き活きと働けている	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての職員が <input checked="" type="radio"/> ②職員の2/3くらいが <input type="radio"/> ③職員の1/3くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input checked="" type="radio"/> ②利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> ③利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての家族等が <input checked="" type="radio"/> ②家族等の2/3くらいが <input type="radio"/> ③家族等の1/3くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

ゆったりとした空間の中で、その人らしい暮らしができるよう支援している。スタッフ一人ひとりが、情報の居夕を隔日にするよう努力している。

評価結果整理表

個別表		□のチェック項目数
I 理念に基づく運営		
－1.	<input type="checkbox"/> 理念と共有	0 項目/3項目
－2.	<input type="checkbox"/> 地域との支え合い	0 項目/3項目
－3.	<input type="checkbox"/> 理念を実践するための制度の理解と活用	0 項目/5項目
－4.	<input type="checkbox"/> 理念を実践するための体制	0 項目/7項目
－5.	<input type="checkbox"/> 人材の育成と支援	0 項目/4項目
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援		
－1.	<input type="checkbox"/> 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応	0 項目/4項目
－2.	<input type="checkbox"/> 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	0 項目/6項目
III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント		
－1.	<input type="checkbox"/> 一人ひとりの把握	0 項目/3項目
－2.	<input type="checkbox"/> 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し	0 項目/3項目
－3.	<input type="checkbox"/> 多機能性を活かした柔軟な支援	0 項目/1項目
－4.	<input type="checkbox"/> 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働	0 項目/10項目
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援		
IV－1. その人らしい暮らしの支援		
－1. (1)	<input type="checkbox"/> 一人ひとりの尊重	0 項目/3項目
－1. (2)	<input type="checkbox"/> その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援	0 項目/6項目
－1. (3)	<input type="checkbox"/> その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援	0 項目/6項目
－1. (4)	<input type="checkbox"/> 安心と安全を支える支援	0 項目/8項目
－1. (5)	<input type="checkbox"/> その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援	0 項目/7項目
IV－2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり		
－2. (1)	<input type="checkbox"/> 居心地のよい環境づくり	0 項目/5項目
－2. (2)	<input type="checkbox"/> 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり	0 項目/3項目

総合評価

I 理念に基づく運営（ 項目／5項目）について

: 法人内においてのみならず、行政とも連携をはかり、さらに理念の実現にとりくみたい。

: スタッフ間においては、理念の再認識をはかるとともに、理念に添った日常生活のサポートが行えるよう、意識の向上に努める。

II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援（ 項目／2項目）について

: 入居期間が長くなるにつれ、入居者とのなじみの関係が自然と出来上がっている。しかし、認知症の進行とADLの低下などの重度化に伴い、活動の範囲が狭くなったり、できることが減少している。その状況に応じて柔軟にサポートを行えるようにしたい。

III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント（ 項目／4項目）について

: 職員側が、入居者の方のできること・できないことなどを決めつけてしまっていないか・・・、職員のペースで時間が動いていないか、見直していきたい。

IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援（ 項目／7項目）について

: 重度化に伴い、訴えの多い方や介助が必要な方にかかわりが偏ってしまうことが多いため、個々の楽しみや役割を持続してもらえるように、個別的なサポートを行っていきたい。

V サービスの成果に関する項目について

: 状況に応じて、生活をサポートしており、入居者の方や家族の方からも安心を頂いていることも多い中で、いかに更なる要望に応えていけるか、努力したい。

